



薬小っ子スタンダード
当たり前のことを
当たり前に行ける子に

薬師寺小だより

平成31年1月
下野市立
薬師寺小学校長
鈴木一恵



自分のことは
自分でする

やさしく



テレビやゲームの
時間を決める

かしこく



家族と一緒に
正しい食習慣

たくましく

明けましておめでとうございます



☆ 本年もどうぞよろしくお祈りします ☆

2019年(平成31年)の幕が開けました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては平成最後のお正月を新たな希望をもってお迎えになられたことと思います。1月8日には子どもたちが厳しい寒さにも負けず清々しい表情で登校してきました。昇降口で出迎えていますと「今年も宜しくお祈りします。」と丁寧にあいさつしてくれる子がたくさんいました。各教室では担任が笑顔で迎えている。新年の抱負も掲示されました。低学年を修了する2年生の掲示板は「もっと難しい問題に挑戦したい」「運動も遊びもいっぱいしたい」など中学年に向かう意気込みで溢れていました。さて、年の初めの集会では、新年を迎えられた幸せと4月には無事に進級できることを願って次のようなお話をしました。

世界に目を向けてみると学校に行きたくても行けない子やきれいな水がなく命を亡くしてしまう子など様々です。こうしてみんなで新年を迎えられることは幸せなことですね。

さて、今年の干支は何でしょう。イノシシ年ですね。では十二支の中でイノシシは何番目でしょうか。みんな確認してみましょう。



(「子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥」を提示して確認。) イノシシは十二支の中で一番最後の干支なのです。なぜ、一番最後になってしまったのでしょうか。イノシシが出てくる諺に『猪突猛進』があります。

◎前後のことを考えずに猛烈な勢いで突き進むこと。◎周りへの配慮や反省なしにむしやりにやり抜くこと。などの意味があり、思い立ったら夢中になって頑張ることはよいのですが慌てると困ったことも起きてしまうようです。イノシシが一番最後になったのにはこんなエピソードがあります。

十二支の動物たちが神様に向かってかけっこをしました。イノシシはまわりも見ずにすごい勢いで走って、誰よりも早く神様の元へたどり着いたのです。しかし、神様のところで止まる事ができず、通り過ぎてしまいました。慌てて引き返したときには11匹の動物が到着して最後になってしまったのです。だからイノシシは十二支の最後になってしまったそうです。

神様のところで止まる事ができていれば、干支の一番はネズミじゃなくてイノシシだったんですね!本当は速いのに、ちょっとうっかりさんのイノシシだったのです。

実力はあるのに、慌ててしまって、ミスをしてしまうことってありますね。自分もそういうことがあるなあと思う人もいます。 (うなずく子多数) 校長先生もあわてんぼうなのでそういうことがよくあります。だから今年の目標は、「じっくり考えて落ち着いて行動する」にしようと思います。

みんなの中にもそんな人がいたら、この干支の話を出して、「じっくり考えて落ち着いて行動」して、ちゃんと学年のゴールに到着してくださいね。

慌てて行動すると友達とぶつかってしまったり、勉強を間違えて覚えてしまったり、いいことはありませんね。慌てずよく考えて、4月には立派に進級してくださいね。ところで冬休みには心に残る本に出会えましたか。

校長先生はイノシシの出てるステキな絵本を見つけました。『きてきてノッシー』(やすいすえこ作:PHP)という絵本です。心優しく親切なノッシーと森の動物たちとのほのほのとした心温まるお話です。図書室に置いておきますので読んでください。



地域とともにある薬師寺小

♥ 年末もたくさんの方々との出会いや充実した活動がありました ♥

12/15 プログラミングコンテスト出場(6年)



本校の作品「ふるさとの室下野薬師寺のPRに役立つPapper」は薬小ならではの素晴らしい内容でした。発表方法や態度も立派で17作品中第6位となりました。

12/17 お琴教室(薬小っ子集会・6年音楽)



鹿沼市の齊藤先生、殿岡先生によるお琴演奏が行われました。美しい音色に魅了されました。6年生は実際にお琴を体験させて頂きみんなで「さくら」を練習しました。

12/19 県立博物館歴史出前授業(3年)



「昔の暮らし」で用いられていた生活用品を多数展示して頂き、分かり易く説明して下さいました。石臼で大豆をひく体験もあり、昔の暮らしの苦勞を体感していました。

12/20 認知サポーター講習会(6年総合)



市地域包括支援センターによる講座は、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守るための大切な内容で、認知症ジュニアサポーターの育成となりました。

12/20 ふるさと学習<えごま絞り>(5年総合)



下野薬師寺歴史館の皆さんによるえごま絞り体験。実際に搾取機の中にえごまを入れて油を絞りました。僅かしかとれない油が昔はどんなに貴重だったか分かりました。

12/21 学校保健給食委員会が行われました



校医、薬剤師、保護者、職員、保健委員会児童が参加して「姿勢」について協議。保健委員が薬小児童の様子を発表しました。姿勢は気力、体力、視力に影響します。

本校は栃木県連合学校保健会における平成30年度よい歯の優良学校コンクールで優良賞を頂きました。

12/15 廃品回収御協力ありがとうございました



保護者様、地域の皆様の御協力により、254,027円という多大なる収益金を頂きました。PTA会計に入れさせて頂き、児童のために有意義に使わせて頂きます。

教育活動アンケート結果から

御協力ありがとうございました。アンケート結果から日頃の御家庭の教育力と地域の皆様の御支援の素晴らしさを改めて実感しました。既に集計結果につきましては年末にお知らせしたとおりです。

ここではA：当てはまる・B：やや当てはまるの合計で90%以上だった項目(◎)をお示しし、今年度の本校教育活動の成果を振り返りたいと思います。

また、C：あまり当てはまらない・D：当てはまらないの合計が25%未満の項目(♥)もお示しし、保護者の皆様や児童の願いを捉え、今後の教育活動改善の参考にさせていただきます。

さらに、教職員の調査結果から教職員の願いもお伝えすることで、今後とも学校と家庭が連携し、お子様のよりよいご成長を目指して歩んでいけたらと考えております。

保護者アンケートから



- ◎自分や友達を大切に思いやりのある生活をしているようだ。
- ◎物事の善悪を正しく判断し、実行しているようだ。
- ◎清掃や奉仕活動など人のためになることをしているようだ。
- ◎学校が楽しく安心して生活しているようだ。
- ◎交通ルールを守って登下校し、安全な生活をしているようだ。
- ◎運動会や薬小祭などの行事に積極的に参加しているようだ。
- ◎家で学校の話をしている。

児童アンケートから



- ◎授業がわかりやすい。
- ◎自分や友達を大切に思いやりのある生活をしている。
- ◎清掃や奉仕活動など人のためになることをしている。
- ◎交通ルールを守って登下校し、安全な生活をしている。
- ◎衛生に気を付けて清潔な生活を心掛けている。
- ◎運動会や薬小祭などの行事に積極的に参加している。

保護者の願いは・・・



- ♥進んで意見を伝えたり教え合ったりして欲しいな。
- ♥学校や家で進んで読書をして欲しいな。
- ♥家庭学習に意欲的に取り組んで欲しいな。
- ♥将来の夢をもって欲しいな。
- ♥自信をもって自分の考えを発表して欲しいな。

児童の願いは・・・



- ♥進んで意見を伝えたり教え合ったりしたいな。
- ♥自信をもって自分の考えを発表したいな。

教職員の思いや願い・・・

- ◎授業が分かり易いと思っている。
- ◎学習することは楽しいと感じている。
- ◎進んで意見を伝えたり教え合ったりしている。
- ◎自分や友達を大切に思いやりがある。
- ◎意見の違う友達とも仲良く助け合っている。
- ◎清掃や奉仕活動など進んで行っている。
- ◎学校が楽しく安心して生活している。
- ◎体育や休み時間に進んで運動している。
- ◎児童の相談にのっている。
- ◎運動会や薬小祭に積極的に参加している。
- ◎児童は自分によいところがあると思っている。

更に願いが膨らみます



- ♥家庭学習のきまりを守り、毎日学習する子に。
- ♥物事のよい悪いを判断し行動できる子に。
- ♥生活のきまり(あいさつ・時間・提出物)をきちんと守れる子に。
- ♥交通ルールを守って安全に登下校できる子に。
- ♥衛生に気を付けて清潔な生活を送れる子に。

学力向上への取組集大成

県教委派遣による学力向上応援団や学力向上推進リーダーの指導の下、取り組んで参りました学力向上推進事業も集大成の時期となりました。学力向上のペースとなる読書活動や家庭学習推進では保護者の皆様にも御理解と御協力を頂きました。お陰様でこの2年間の成果を実感できるまでとなりました。今後も教職員一丸となって授業の改善に取り組んで参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

学習意欲・学習習慣の向上について

「児童の学ぶ意欲・学習習慣(3~6年)」についてアンケート調査してきました。11月に実施した調査は次のような結果となり、すべての項目が増加傾向となりました。

- | | |
|-------------------------|-------|
| ①勉強していておもしろいと思うことがある | 88.3% |
| ②むずかしい問題にであるとよりやる気が出る | 61.9% |
| ③できるだけ自分ひとりの力で解決しようとする | 84.0% |
| ④学習に対して自分から進んで取り組んでいる | 70.2% |
| ⑤学校での役割や係の仕事に責任をもって取り組む | 94.3% |

今後の課題として②むずかしい問題への意欲が挙げられます。難問に意欲的な子は「たくさん方法を考えてみたい、達成感がある、分らないままにしたいくない」という理由を挙げています。一方、難問に消極的な子は「解き方が分からない、時間がかかる、考え続けるのが苦手、先生や友だちに聞きづらい」という理由を挙げています。

算数科「量と測定」分野の対策について

学力テストなどの結果から算数では特に「量と測定」の分野が苦手であることが分かりました。その一因として子どもたちの日常生活経験の不足も挙げられるようです。

例えば、1年生が「水のかさ」を学習したときの笑い話のようなエピソードがあります。

2つの水筒の水のかさを比べる学習で、指導者は「コップで何杯とあと少し」という方法を引き出したかったのですが、残念ながら子どもたちからその発想は出ませんでした。

これはたぶん、近頃は飲み物を水筒やボトルから個人で直飲みすることが多いので、コップを使って分け合うという経験が少ないからなのではないでしょうか。

指導者がこの調べ方を教えたとき、子どもたちはきょとんとした表情だったとか。生活が簡便化される反面、日常の何気ない生活経験が子どもの考える力に与える影響の大きさも見落とさないようにしたいものです。

各学年の「量と測定」における内容の一例を挙げますので、御家庭でも家庭学習の際に意識的に経験させてみたり、ヒントを与えてみたりして下さることをお勧めします。

1年「じこくとじかん」

何時半ということが理解しにくいようですので、生活の中で時計を意識させ、短針の移動、長針の位置に気付かせるとよいでしょう。

2年「時こくと時間」

80分=□時間□分という換算や□分後(□時間後)の時刻を長針(短針)を想起しながら考えることが苦手なようですので、時計の文字盤を活用して長針(短針)が何目盛り動くか親子で一緒に調べてみるとよいでしょう。

3年「時こくと時間」

□時間□分前(後)の時刻や□時□分から□時間□分前(後)の時間を求めることが苦手なようですので、日々の生活の中で質問し模型や数直線を用いて一緒に確かめてみるとよいでしょう。

4年「面積」

公式は定着していますが複合図形の面積を求める応用力や m^2 と cm^2 の単位換算が難しいようです。複合図形を正方形や長方形の集合とみる感覚や $1m = 100cm$ の換算などが基本となります。

5年「体積」

公式は定着していますが立式の際に必要な数値が正しく捉えられなかったり、かけ算のミスが見られたりします。長さや面積の単位との混同も見られます。出された問題の単位や数値を丸で困り、筆算は位が揃うようマス目を意識するなどが大切です。

6年「速さ」

公式のパターンは定着していますが m を km に変換する問題やどちらが速いか比較する問題、単位を揃えて比較する問題が苦手。答えの見当や数直線の活用、類題を数多くこなすことが大切。